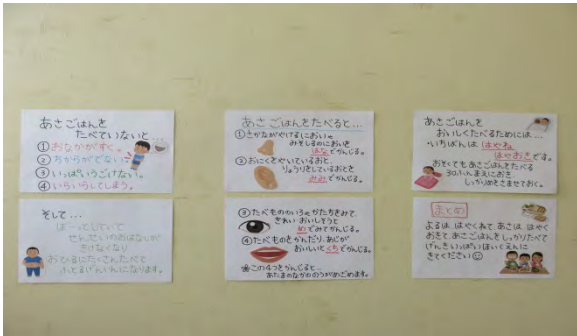


【様式 1】

①食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	北九州市門司区 北九州市社会福祉法人大里福祉会 西光保育園
取組の名称	元気に保育園でたくさんあそぶには・・・
実施時期	令和元年6月6日（木）
取組内容	・給食前にお話がありました。      ・6月6日に給食先生から「今年も暑くなりました。」とお話がありました。 あさごはんを おいしく食べるには、はやね はやおき です。 遅くても 朝ごはんを食べる30分前に起きてしっかり目を覚ましてごはんを 食べましょう。 ・朝ごはんを食べると・・・ ①魚が焼ける匂いや味噌汁のにおいを鼻でかんじる。 ②お肉をやいている音など料理をしている音を耳でかんじる。 ③食べ物の色や形を見て きれい、おいしそうと目でかんじる。 ④食べ物の味がおいしいと口でかんじる。 この4つをかんじると頭の中の脳が目覚めます。 元気に保育園でたくさん遊ぶにはしっかり朝ごはんを食べてきましょう！！

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	北九州市小倉南区 広徳保育園
取組の名称	食育集会「三色栄養とマナーについて」
実施時期	令和元年6月18日（火）
取組内容	・食べ物には栄養があることや、栄養は体にどんな働きをするのかを色別に分けて知らせ、バランスよく食べる大切さなどを話す。    ・食事をする時のマナーを伝える。 →正しい姿勢で食べていますか？（足と手の位置は？） →箸やお碗は正しく持っていますか？ →楽しく食事をしようね！（おしゃべりはほどほどに…）      （＊以上児クラス対象） ・食べることは楽しいこと、体に良いことを伝え、好き嫌いせずバランスよく食べる大切さと、姿勢よく食べることで栄養が体の中でよく働くことを知り、普段から意識してもらう。

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	北九州市八幡西区 社会福祉法人北九州市福祉事業団 あじさい保育所
取組の名称	いちごジャム作り
実施時期	2019年6月
取組内容	あじさい保育所の園庭にあるいちごのプランターは、子ども達と一緒に四季を過ごしています。霜や雪が積もると、そっと払ってあげたり、色づき始めた実をじっと見つめたりしながら子ども達は赤い実になるのを楽しみにしています。 今年も恒例のいちごジャム作りをしました。   いちごは、赤くなった実を摘むたびに冷凍しながら集めました。 砂糖を入れて煮ていくと、部屋中に甘い香りが立ち込め始め、「いい匂い！」「餡みたいな匂い！」「見て、グツグツ泡が出てきたよ！」「トロトロしてきた。」「ピカピカになってきた。」と香りや煮詰まっていく様子に興味津々でした。 出来上がったジャムはクラッカーにトッピングして食べました。     「おいしかったね」「甘かったね」と、大切に育てたいちごの甘酸っぱさを口いっぱいに感じました。 また来年の春も甘酸っぱい香りと味に出会えますように！

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	北九州市八幡西区 新栄ひまわり保育園
取組の名称	食育集会「食育タペストリー」・お日様のめぐみ、動物のおすそわけ
実施時期	令和 1 年 6 月 24 日（月曜日）
	令和 1 年 6 月 24 日 月曜日 3・4・5 歳児対象 食育月間の取り組みとして、3 歳児 20 名、4 歳児 16 名、5 歳児 16 名計 52 名を対象に「食育集会」を行いました。 太陽によって成長し食物になるもの（野菜類）、動物の命を頂いて食物になるもの（肉類）を緑のグループ【ガチャピン】と 赤のグループ【ムック】に分けて、分かり易く話をしました。動物の命の事に触れると 3 歳児も真剣な眼をして、話を聞いていました。 また、食材の模型を使って色分けすると、一人一人が真剣に考え活発に発表する事ができました。好き嫌いせずに食べようとする事や「いただきます」「ごちそうさまでした」の意味も伝えることができました。 5 歳児には、肉類の加工食品について考える時間を取り、ウインナー、牛乳、ヨーグルト、チーズ等々を取り上げると「あっ 牛からのおすそわけが多いね」という気付きに繋がりました。 食べ物から頂く命を、大切にしてほしいと思います。

①食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	北九州市戸畑区 社会福祉法人 戸畑民生事業協会 中原保育園
取組の名称	しっかり噛んで、元気な体を作ろう！
実施時期	令和元年 6 月 20 日（木）
取組内容	*保育士を対象に歯科医師を招き、「豊かな口腔機能を育てる大切さ」を園内研修で学んだ。その中でも、噛むこと、咀嚼の大切さに着目し、年齢に応じた摂食能力を高められるよう働きかけていくことを目標とした。 *特に乳幼児は押しつぶし機能やすりつぶし機能獲得期であるため、スプーンを使った基本的な食べさせ方を実践した。食べ物をスプーンの先にこんもりとのせ並行に口に運ぶことで口唇で食べ物を口に取り込むことができる。その際、口の奥ではなく中央付近に入れることが基本である。    0 歳児 *今年度の取り組みとして、どの年齢でも自分の一口量を知らせ、口の真ん中に食べ物をいれることでしっかり噛むことができることを毎日の食事の場で覚えられるように言葉かけや援助を行っている    3 歳児 1 歳児 2 歳児   5 歳児 4 歳児 *5 歳児では、口に入れたものを 30 回噛むことが、将来の健康につながることを知らせており、ご飯で実践した。「なんか甘い」「おもちの味がする」などの感想が聞かれた。 

【様式 1】

①食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市（市役所・区役所）
取組市町村名 取組団体・企業名	
取組の名称	食育月間普及啓発イベントの実施
実施時期	令和元年 6 月
取組内容	本市の食生活の状況において、野菜の摂取不足や食塩の過剰摂取等の課題があるため、6 月の食育月間に市役所・区役所に来場する市民を対象に、食育に関する普及啓発活動を実施しました。 【実施会場】北九州市役所、区役所（7 区）等 【実施内容】 ・管理栄養士による栄養相談（7 会場、92 人参加） ・体組成測定（3 会場、195 人参加） ・健康料理試食（1 会場、120 人参加） ・適塩みそ汁の試飲（6 会場、404 人参加） ・家庭の汁物塩分測定（1 会場、2 人参加） ・塩分チェック（3 会場、187 人参加） ・野菜の計量体験（1 会場、102 人参加） ・食育に関するクイズや調査（2 会場、133 人参加） ・食育 S A T システムによる食事診断（2 会場、122 人参加） ・食育の展示 （パネル、フードモデル、リーフレット） ・啓発物の配布 （リーフレット、事業ちらし、クリアファイル、野菜ふきん、付箋） ※開催日時や内容については、会場によって異なります。 【開催の様子】